

【Throw & Catch 競技ルールとガイドライン】

Throw & Catch ラウンドでは、競技者には 60 秒与えられ、その間に 1 枚のディスクでできるだけ多くのスローを投げることができる。時間開始前には、犬と投げ手はラインの手前にいなくてはならない。以下の手順で開始される。

"Judges Ready?" MC はジャッジに開始準備ができていないかを確認する。ジャッジは準備ができていないことを示さなければならない。

"Competitor Ready?" その後 MC はプレイヤーに開始準備ができていないかを確認する。これは真剣な質問であり、もし投げ手の準備ができていなければその旨伝えなければならない。

投げ手の準備ができていたらラインジャッジは MC に、競技者の準備ができていないことを示す。これは、ラインジャッジが空中に手をあげることで行う。

"GO." MC は"go" といい、それと同時に時間がスタートする。

投げ手はスローを投げる時には常にラインの手前にいなければならないが、スローとスローの間にはフィールドを自由に移動することができる。ディスクが手から離れる瞬間に投げ手の足がラインを踏んだり越えたりした場合、そのスローはカウントされない。ラウンドの最中、ディスクのリムが切れていたり、ディスクがひどく壊れているなど、犬がキャッチするには危険だと競技者が判断した場合、あらかじめジャッジに渡していたディスクと交換することができる。**新しいディスクをもらう前に壊れたディスクをラインジャッジに渡さなくてはならない。**ディスクの交換の間、時間は止められない。残り時間のカウントダウンは、30 秒、10 秒 5、4、3、2、1、タイム、とコールされる。“タイム”のコールの前、またはコールの最中に投げ手の手から離れたディスクのみ有効となる。

スコアリング

フィールドはメーターで 0 から 50mまで計測する。1 から 4 の 4 つのゾーンに分かれる。ゾーンは地面にラインを書いて示す。ポイントを獲得するためには犬がディスクをキャッチしなくてはならない。ポイントは犬がディスクをキャッチした場所、それが空中キャッチであれば着地した場所によって決まる。犬の最後尾の脚の位置がポイント位置となる。最後尾の脚は完全にラインの上かラインを越えていなければそのラインの高い側のゾーンのポイントは獲得できない。犬がディスクをキャッチした時、いずれかの脚がラインの手前にあった場合ラインの手前の低いゾーンのポイントを獲得する。

以下の表に示すゾーンでのキャッチを成功させるとそのポイントが与えられる。

ゾーン	距離		ポイント
1	0 - 15m	15m = 49フィート 2インチ	0
2	15 - 25m	25m = 82フィート	1
3	25 - 35m	35m = 114フィート 10インチ	2
4	35 - 50m	50m = 164フィート	3
ボーナス	35m	35mラインに、半径5mの半円	4

注意：“Anti-Gravity Bonus”：2015 年空中キャッチに対するボーナスはなくなった。

Throw & Catch フィールドレイアウト

フィールドは、競技者がフィールドのどちらの端からも投げられるように設営する。いったん時間が開始されてから投げる方向を変更することはできない。

目立たないコーンをフィールドの側面の端に沿って **20mごとに配置する。フィールドのサイドやエンドの境界線の外にでもポイントになる。**

1 メーター= 1.0936 ヤード 1 ヤード=3 フィート、 3 3/8 inches = 39 3/8 inches

ボーナスランディングゾーン

ボーナスランディングゾーンは半径 5 mの半円で、境界を示すコーンとコーンの間に作られる。このゾーンの手前の端は、35m ラインとなる。ボーナスポイントは以下の 2 つの条件を満たした場合に与えられる。

1. キャッチが 35m ラインを越えてなされた。(ゾーン 4)
2. キャッチ時、またはその着地時（空中キャッチの場合）にボーナスランディングゾーンに脚が 1 本でも入った。

タイブレイクは以下の規定に沿って行う。

- 1) Throw & Catch ラウンド中のスローの中で、最も高いスローポイント
- 2) ボーナスゾーンでポイントした回数の高い方

Throw & Catch シュートアウト

上記の規定でもタイブレイクがなされなかった場合、同点であった競技者たちは Throw & Catch シュートアウトによって順位を決定する。

コイントスを行い、どのチームが先に投げるかを決定する。各チームはシュートアウトの各ラウンド 1 スローずつ投げるができる。ラウンドで高い方のポイントを取ったチームが高い順位となる。

シュートアウトラウンドはどちらかのチームが相手より高いポイントを取るまで続ける。競技者は必要があれば犬を休ませることができる。

UFO フィールド設営

UFO の競技フィールドは、T&C プレイヤーがフィールドのどちらの端からも投げられるように設営する。スローイングラインからもう一方のスローイングラインまでの距離は 50m とする。スローイングラインの後ろには、5 mのバッファゾーンを確保する。そのバッファゾーンには旗、バナー、テントを配置しない。

UFO の T&C フィールドは、テントや、人々が犬を連れてフィールドの周りを歩くスペースを考慮にいれ、70 m 程度の余裕を持たせることを推奨する。

基本的な UFO の T&C フィールドの幅は **20m**とする。狭い場所では、これより多少狭く 18mでもよいが、それよりは狭くないこと。フィールドはより広く、**25m**まで広げてよい。競技者のテントのことを考え、エンドゾーンに沿ってより広いスペースができる。フィールドの幅は **30m を越えない**こと。

UFO では境界を越えたことによってポイントにならないアウトオブバウンズ (out-of-bounds) はないが、

フィールドの端には旗やテントが配置されている。このため、予定されたフィールドの幅のコーンの外側に予備のスペースを追加し、テントや構造物との間に確実に空間を設けておくことよ。

色をつける場合は、フィールドは芝生に害のない水性のもので行う。会場での制限があるのであればチョークの粉を使用するとよい。

